# 第15回富士小校区防災訓練の反省と今後の課題

第8回富士が丘防災会議

期日:令和7年(2025年) 11月15日 (土) 15:00~16:40

場所:富士が丘コミニュティセンター 大会議室

#### <防災訓練の反省と今後の課題>

#### (1)参加者数について

地区別参加者数は各丁目からの申告数に OB,OG の人数を加算しています。 今年は 169 人 (うち子供は 18 人)、去年は 210 人でした。

- ・計画にあった要支援者を車椅子に乗せて搬送訓練しましたか?
  - → 各丁目:今年度は実施していない
- ・安否確認の無事カード掲出率は、67%で高い、参考までに他の地域は大体 40~50%である 掲出率が高い理由として考えられることは、ゴミステーションへの訓練告知や、無事カードを掲出 していない時はインターホンを鳴らしますと連絡していることが大きいと思う

#### (2) 各地区での安否確認について

- ・訓練前に地区内を巡回して無事カードの張り出しと集合を呼び掛けましたか?
  - → 1丁目だけ実施した
  - ・弥生が丘は、消防車に自治会の人が乗り、訓練のアナウンスをしていた アナウンスがあると訓練のきっかけになるが、アナウンスなしが自然な姿である
- ・無事カードを掲出してない家のインターホンを鳴らすと、恐縮された
- ・無事カードの掲出がないと思って、インターホンを鳴らしたら、掲出していると怒られた班長がいた。
- ・無事カードの掲出場所を決めて欲しいと言われたが、それぞれ家の形状が違うので 外から見えやすい場所に掲出してもらうしかない
- ・4丁目は無事カードの掲載情報が古く、集合場所を修正するとのこと
- ・インターホンを押したら、雨なのに防災訓練はあるの?と言われた
  - → チラシには雨天決行を記載しているが、雨天の場合は外の訓練項目は中止することを記載して いなかった
- ・安否確認シートの自治会加入・未加入の区分について
  - → 自治会加入・未加入の記載は班長がどちらかを把握し、対応しやすくするために記載している
- ・1丁目が無事カード保有調査行った時、無事カードが5枚返却された
  - → 訓練時、無事カードを返却した家のインターホンを鳴らして、トラブルにならないかと心配していた

## (3)訓練項目別参加者数について

- ・実際に訓練を受けた人数とスタンプカードから集計した人数に大きな差がある
- ・今回の訓練ではスタンプカードのシールのカウントは信用できない
  - 1箇所で全ての項目にシールを貼る人、訓練を受けずにシールを貼る人、雨天のため中止した訓練項目に までシールを貼っている人がいた
- ・参加者はシールを全て貼らないと、参加賞をもらえないと思っているかもしれないので、今後、参加者に スタンプシールについてしっかり周知し、シールの貼り方についても検討が必要
- ・スタンプカードに地区の記載がない人が23人いた
- ・スタンプカードを児童昇降口で配布したのは良くなかった

今後、体育館入口で配布後、すぐに記入台に誘導し、記入を徹底すれば記載が漏れることはない

・スタンプカードに1から6まで記入しておき、自分の丁目に○をつけてもらうようにする

## (4) 靴カバーについて

- ・靴カバーを履くために椅子は最初準備していなかったが必須と分かった。今回は急遽 15 個並べて使用した 子供用の靴カバーはないのかと聞かれたが、子供用の靴カバーはないので、上履きを持ってきて もらえると良い
- ・富士小学校の体育館は、養生シートを敷いて、その上を靴のまま歩くことや、養生シートを敷かずに 靴カバーだけつけて歩くことはできない

#### (5) 各訓練項目について

- ① 心肺蘇生·AED 訓練
  - ・消防の方がスムーズに説明されていたが、声が小さい方がいて説明が聞きにくいことがあった
  - ・一人に時間がかかる
  - ・子供用に参加してる人はあまりいなかった
  - ・スタンプカード集計の112人は参加していない
- ② ダンボールベッド組立
  - ・参加者はみな真剣に組み立てていた
  - ・子供が嬉しそうにベッドの上に寝転がっていたし、大人も座ってベッドの頑丈さを確かめていた
  - ・スタンプカード集計の112人は参加していない
- ③ 家具転倒防止品
  - ・最初は参加者がたくさん来て、シールは貼ってあげるのではなく、参加者自身で貼ってもらうことにした
  - ・リーダーの会の人の説明が上手くて、とてもためになった
  - ・今までの防災訓練では展示しているだけだったので、今回は一つの訓練項目として設定し興味を持ってきて くれる人がいて、じっくり見てもらい、理解してもらえた
- ④ 感震ブレーカー、火災報知器
  - ・最初は沢山の参加者があった
  - ・初めて見たけど、分かりやすいもので、自分自身に勉強になった
  - ・アナログタイプやコンセントタイプがある
  - ・値段を聞いてる人がいた
- ⑤ 防災備品の展示
  - ・説明をよく聞いてる人が多かった
  - ・子供もしっかり聞いていた
  - ・説明している人がとても上手く、防災バックの中身、値段、購入場所など説明していた
  - ・ただの展示にするのではなく、一つの訓練項目として良かった
- ⑥ 避難所見学
  - ・人が多く、どんどん人数が増え、最後は40人も参加した
  - ・意識が高い人が多いが、中にはただ付いて歩いている人もいた
  - ・人数が多いため、列が長くなり、声が聞こえなかった
  - ・見学に引率者が教頭先生だけでなく、もう一人いたら班を分散して、もっとスムーズに見学が行えると思う
  - ・実際の参加者は80人ぐらい
- ⑦ 消防ふれあい

- ・一番最初に来たのが大人であった子供を想定していたので困ったが、消防の方がホース投げをしてくれて良かった
- ・ここは一つの訓練項目としてではなく、消防車が好きな人が自由な時間に来れるようにした ほうが良いかもしれない
- ・消防車に気づかない人がいたのでアナウンスした
- ⑧ ロケットストーブによるマシュマロの提供
  - ・コンスタントに人は来た。特に年配の方が喜んで行っていた
  - ・ストーブは、雨だけどしっかり燃えていた
  - ・ロケットストーブ本体に興味を持ってくれた人がいた(ロケットストーブはリーダーの会の自作品)
  - ・140個のマシュマロを焼いたので、今回の防災訓練項目で1位の参加者数
  - ・秋祭りの時に防災訓練でもロケットストーブでマシュマロ体験できるよと宣伝していた
  - ・炭や灰は学校の土手に穴を掘って埋めた → 灰の処分については検討する

#### (6) 運営などについて

- ① 体育館の集合時、床に座れない人は館内に用意した椅子に座ってくださいとアナウンスができていなかった
- ② 集合体形での各丁目の最後尾に椅子を設置してはどうかという意見があった
- ③ 小学校の裏門から来る人が雨に濡れたくないし、直接体育館に来るので、煙体験を行わない雨の時は入口を 児童昇降口と体育館入口の両方を開放してはどうか?
  - → 体育館入口は小さいので混雑しやすい。児童昇降口は広いし、体育館までに距離があり、整理しやすい ので混乱を招かないためにも児童昇降口で行いたい
- ④ 訓練の始まる時間がよく分からない、プログラムがよく見えない、体育館に早く着いた人たちの待ち時間が長かった
- ⑤ 開会は、5分早めたけど、消防署の防災講話が長かった 開会式が長すぎるので、座ってる人も立ってるのも苦痛になる
- ⑥ 児童昇降口と記載するより、下駄箱と記載するほうが分かりやすい → 児童昇降口が正式名です
- ⑦ 時間があれば、スタンプカードで実施しない訓練項目がある時は斜線を引くほうがいいが、準備が大変
- ⑧ 自由参加型は今年限りにしたいと思う(事務局)

訓練する側はやりにくいし、参加者が来るブース、来ないブースの差も出て、それを無くすためにも 例年通りに班ごとにブースを回るようにしたいと思います

また、防災への家の備えや訓練項目の評価についてのアンケートの復活を検討したい

- ⑨ 班ごとで回る防災訓練にすると、項目を減らすことになる
  - ・アンケート時間も用意し、訓練に長時間しばられるなら行かないという人が出てくる
  - ・選択制は興味がある訓練に参加できるから、訓練を受ける側は良い
  - ・時間があまりない人でも気になる訓練だけ参加して、帰ることができる
  - ・班ごとだと自分が興味ない訓練だけをして帰ることになる場合が出てくる
- ⑩ 次年度はスタンプカードはやめて、アンケート記入で参加賞をプレゼントしてはどうか
- ① 参加賞として配布した簡易トイレセットについては、特に意見は出ていない
- ② 防災訓練に来た人に尋ねられるのでプログラムと訓練配置図を渡すと訓練に回りやすくなると思う
- ③ 参加者は、自由参加型は良かったと言っていた
- ④ 避難所見学をしているのは富士が丘だけであり、避難所スペース配置図を作成している地域も少ない
- ⑤ 防災訓練の写真はたくさん撮ってもらったので、後日ポータルサイトに掲載予定
- ⑩ 訓練後の支援者へのお茶の配布は、手違いで渡せなった人が3人いた

- ① おもちゃの消火器水鉄砲を子供にプレゼントしたら大好評だった。今後も秋祭りや防災訓練で配布したい 以下は、11月15日17時から開催された3丁目班長会議での意見(参考)
- ⑱ 子連れだったので選択制なのはとてもありがたかった
- ⑨ スタンプラリーは良かったと思う
- ② スタンプラリーは全部に行かないと参加賞がもらえないと思っていた。どの項目に興味があるか把握したかった為のシールだとは伝わっていなかったのでそれを初めにもっと伝えていたほうがよかった
- ② 無事カードの確認をするよりも要支援者の所に駆けつける事のほうが大事なのではないか

以上